高津区おはなしアーカイブ

●森 郁男(もり いくお)さん昭和14年8月生まれ 77歳川崎市高津区久末在住



◆戦時中に大変な苦労を

生まれも育ちも久末のこの家です。

次男だった父が37歳の時に出征し戦死しました。私は5人兄弟で、姉が2人、私、下に妹と弟がそのとき残されました。それからです、母の苦労が始まったのは。今でも私は「なぜ、日本はうちのような0歳、2歳、4歳、6歳、8歳と小さな子どもが5人もいる父親を兵隊にとったのだろうか」と納得がいかない思いです。

◆女手1つで育てられましたね

久末は昭和30年くらいまで、農家の男は長男だけが畑を持つことができ、次男以下は家の手伝いや外へ働きに行くしかありませんでした。父は次男坊でしたから土地

など無く、夫を亡くした後の母は、農家の 手伝いに行ってなんとか暮らしを立ててい ました。母の奮闘ぶりは幼い子どもでも分 かり、兄弟は姉を中心に結束していました。

戦時中、爆撃機が飛んできたときに逃げるチームワークはすごかったですよ。長男である私が一家に一個配給される鉄兜をかぶり、上の姉が下の弟を背負い、母が荷物を背負い防空壕に走りました。

久末には高射砲陣地があり、蟹ヶ谷の山の上に海軍の無線電信受信所があったので、 艦載機がひっきりなしに飛んで来ました。 無線の基地を空襲から守るために地下壕が 作られ、この地下壕は現在でも残されています。

この辺は、焼夷弾もよく落ちました。ある日、武蔵小杉から小田中まで一直線に爆撃機が落としていったことがありました。 子どもながら、なぜこんなに落とすのかなあと思った事を鮮明に覚えてますよ。

焼夷弾は六角の形をしていて、燃えた後はそれを自宅の玄関前の階段にしてました。でも、昭和27年の朝鮮動乱のときに全部盗まれました。一夜のうちに鉄くずとして持っていかれたのでしょう。

久末は4軒が爆撃で焼かれました。この 近くの久末自動車さんにも爆弾が落ちまし た。誰も被害に遭わなかったのは、この辺 は全て田んぼで柔らかい土地だったので、 爆弾が田んぼに落ちても、もぐってしまい、 幅10メートル深さ20メートルの穴ができただけで済みました。

そんな中でも本当に私たち家族を助けて くれた人たちがいたのです。母の兄弟たち も仲良かったので母方の親戚筋が何かと面 倒をみてくれました。母の実家や農家の姉 や近所のイノキさんなどです。母の姉は昼 間に運ぶとこの家が辱めを受けるのを気遣 って、夜に野菜を届けてくれました。姉の 夫も、男手のない正月を心配して「大丈夫 か?」と見にきてくれたりもしました。屋 号と地名が同じ「いのき=イノ木さん」は、 薪が無くて風呂が焚けない私らに、1番風 呂に入らせてくれました。「風呂が焚けた よ~!」の合図は「ホーッ!」という呼び 声でした。周りが何もない平地なので声が 響いてわかるのですよ。今では考えられな い優しさですよね。

自分も小学校5年生から新聞配達をして家計を助けました。母に朝4時20分に起こしてもらい、日吉まで自転車で新聞を取りにいきました。中学3年までの5年間、1日も休まずに配達しました。私のために久末40軒、全ての家が朝日新聞を購読してくれました。ありがたいことです。でも家計は厳しかったから、配達中によその家の柿が食べたくてねえ。その想いで大人になって自宅の庭に柿の木を植えたけど、自分の子どもたちは見向きもしないんだから、まったく嫌になっちゃうよねえ。

◆どんな子ども時代を

昭和20年に野川小学校に入学しました。 野川小学校ができるまでは橘小学校しかあ りませんでした。

当時は洋服だけど、靴はなくて駒下駄ですよ。雪が降ると、下駄の刃の間に雪が詰まって転ぶんだ。だからって草履に履き替えると藁だから、雪で足にしもやけができちゃってね。長靴なんか、ゴムが弱いから切れてしまい、ぜんぜん使い物にならなかったね。

小学校のときは初めの頃は弁当で、のち に給食、中学時代はずっと弁当だったね。

食べ物の主食は麦がほとんどだったね。 母の作るおかずで一番好きだったのは、肉なしコロッケ。弁当のおかずで一番好きだったのは、玉ねぎの天ぷら。醤油が下のご飯に染みて美味いのなんのって。ニンジンも牛蒡の天ぷらも美味かったなあ。当時の弁当箱はアルマイトだったから、日の丸弁当の梅干のところだけが腐食して穴が空いたりしてね。鰹節や昆布を乗っけたり、海苔は豊富だったから海苔弁もよく食べましたよ。

自分の子ども時代もイジメはありましたが、必ず正義感に燃えてる奴もいて虐めを見たら「何してるんだ!」と大声で怒鳴って助けていました。私は、背が小さくてあだ名はチビで背の順は前列、おまけに母が親戚から貰ってくる、お古のズボンはいつも継ぎはぎだらけで前列はきつかった。み

じめなので人に負けたくない一心で勉強も 運動も頑張りました。遊びのメンコなんか も強かったねえ。メンコは下級生とは遊ば ず、いつも上級生に挑んでましたね。私が 勝つから上級生は面白くない、だけどその 分、弟が全部負けるから、丁度良かったみ たいだね。

中学は1年生の時だけ西中原中学であとの2年間は橘中学です。橘中は農家の人たちが畑を提供して建てた学校です。

2年生の4月13日までは西中原中で、 次の日の14日から橘中に行けと言われた んだよね。2年生で入学して最上級生。学 校に行ったらグランドなんかなくて全部畑 でびっくりしましたよ。子どもながらに皆 で朝7時に学校に行って、運動場作り。女 子のソフトボールができる広さの運動場を まず作りました。

川崎市内では27の中学校がありました。 その中で女子ソフトボール大会があり、な んと我が校の女子チームが優勝しました。 ある日、担任の先生から校庭に集合がかか り、また怒られるかなと緊張して校庭に出 たら、優勝カップを見せられ、女子チーム からは礼を言われお辞儀をされて本当に嬉 しかったねえ。

中学時代は風邪も引かず皆勤賞です。これもひとえに新聞配達のおかげで体力がついたと思ってます。高津警察署から善行児 童として表彰も受けました。

◆立身出世の道を歩みますね

中学卒業後は働き始めました。担任の先生が県立川崎高校に行けるので育英資金をもらう手続きをすると母に交渉に来ましたが、やはり姉2人がすでに働いていたし、妹や弟を学校に行かせたかったので、学業は諦めました。生活のためにサラリーマンの道を選びましたが、やはり母は喜んでくれました。

昭和29年の朝鮮動乱の影響で、当時は「なべ底景気」といって、日本の景気は最低でしたよ。社員を募集する会社も限られていて、日本電気や東芝や富士通は就職試験の募集無しでした。募集有りは富士電機と日本鋼管と荏原製作所の3社だけでしたが、条件が厳しいのなんのって。富士電機は「両親が健在」、日本鋼管は「身長が154センチ以上」等で、私は戦争で父を亡くしてしてるし、当時はまだ身長が中学生で154センチなかったから、もはや選択肢は荏原製作所しかなかったのです。

現在、ポンプメーカーとして世界一になった会社ですが、当時は羽田に本社があって、爆撃をくらい刈宿に移転してました。

昔は会社が入社した若者を教育して養成工に育て上げるという訓練制度があり、「よし、これで頑張ろう」と試験を受けに行きました。だけど、20人しか採らないのに後で聞いたら、なんと2000人もの応募があったとか・・・。

採用通知が来たときのことは、いまだに 覚えていますよ。和紙でできた速達を受け 取り、母に「なんだか合格通知みたいなの が来たよ」と言ったら、母が喜んでくれて ねえ、親戚も紅白のお餅を作ってくれまし た。

会社に入ってみてわかったのは、選抜されて合格した20人は、とにかく皆、頭が良かったということでした。当時は大学の先生が大学の授業並みに研修で教えてくれました。橘高校の夜学にも通わせてもらったのですが、もはや、高校の授業が簡単すぎて面白くないんだよね。思わず「先生、そんな教え方じゃあ、わからないですよ!」なんて言って、自分が教壇に立っちゃったときもありましたよ。20人の仲間や夜学の友だちとも皆、すぐ仲良くなったなあ。付き合いは現在も続いています。

当時は特部制度というのがあり、時間内に仕事が早く終了すればするほど、歩合制でお金の報酬がありました。この特部制度を良かれと思って頑張っていた私ですが、成績が良すぎて正社員の反感を買ってしまい、イジメに遭いました。もう荏原製作所は辞めようと覚悟を決めました。内緒で自動車整備工になるため準備をして、試験にも合格し自動車整備工場にも勤務する話をつけたあくる日、会社に辞表を出しました。ところが、その辞表を出した日に帰宅す

ところが、その辞表を出した日に帰宅すると、母が私の辞表を手にしているではありませんか!母から「今日、辞表を出した

んだって!会社の人が来て、辞めないように息子さんを説得してくれと言われたよ」と母も半信半疑のようでした。私は、苦労をかけた母に「会社を辞めないで」と言われたら、背くわけにはいきませんよ。結局、自動車整備工場には自分から断りに行き、また会社に残りました。すると、人事から「見どころのある奴だから、現場から事務所に来い」と引き上げられました。

ある日、「森さん、辞令で主任になってるよ」と言われ、本当に「えっ!」と言ってびっくりしましたよ。それからは飛び級のように、課長から部長と続いていきました。上司たちの推薦のおかげだと思っています。

設計部で技術系の大卒の部下を従えましたが、女子社員から「森さんはどこの大学の工学部を卒業したのですか?」と聞かれ、「俺は、橘の中卒だよ」と答えたらキョトンとしていたっけ。

私に「森、おまえは技能検定士の講師も やってみろ!」とアドバイスをくれた上司 がいて、講師もやるようになりました。私 が教えた生徒がなぜか、全員合格。

荏原製作所は60歳定年でしたが、65 歳まで残りました。

私のやる気を見抜いてくれた上司たちや、 仲良しの友人たちに恵まれ、今も感謝の気 持ちは忘れていません。

◆子ども会での活躍は

36歳のときに子ども会の会長になりました。会長になって、まずは子どもたちのために移動図書館を設けようと思いました。中原図書館に許可を貰おうと3ヶ月通い続け頼みましたよ。最初に移動バスの駐車する所を見つけなければいけないということで、親戚の田んぼの場所と県営住宅の集会所に決めました。その後、プラザ橘に図書館を開設するので移動図書館を閉めても良いだろうかと図書館側からの申し入れがあり、了解しました。図書館の出来た歴史を知り、多くの子供たちの活用を期待しています。

次に、子ども神輿を作ろうとしたんだ。 でも神社の氏子の反対や、道が悪くて危険 という声もあり、いったん暗礁に乗り上げ てしまい・・・。そのときに、「子どもの 安全は俺らが守るから!」と自警消防団の 人たちが声をかけてくれたんです。それか らは、懇意にしてた町内会長も動き出して くれました。ついにその年の秋祭りに子ど も神輿が繰り出し、大成功を収めました。 それから、今に至るまで長年、子ども神輿 は続いています。

そして、久末のふるさと親子祭りも始めました。ここで生まれた子どもたちがここがふるさとであり、社会に飛び立っていってもふるさとの思い出を残してもらう考えで行いました。

◆久末の地域の変遷は

買い物はここから100mのところに 「千倍屋」というよろずやがあって、そこ で全部用が足りたね。精米もうどんも打っ てくれたもの。魚、酒、米は配給だったね。 冷蔵庫がない時の配給で腐りそうな魚ばか り食べてたから、サバとか食べると蕁麻疹 が出て参ったね。いまだにサバは苦手です。

久末の家の数は明治の頃は40軒、その うち地主が11軒で、残りの29軒が小作 人でした。昭和20年に農地解放で、身分 差がなくなりました。

町会費の会計簿で調べたら、昭和30年 頃の久末は全部で72軒、昭和32年には 103軒に増えたけど、半分が農家でした。 まだ貧しい時代でしたよ。

しかし8年後の昭和40年にはその10 3軒の600人は、人口増加で1万4,0 00人になりました。その理由は、昭和3 5年に2軒長屋を含む木造市営住宅が出来、昭和37年には市営・県営のコンクリート 住宅が出来たからです。そして、下水道が 完備していないので洗剤が田んぼに流れる ようになり、米作りが出来ずに、田んぼを 埋め立てして畑に変わりました。

久末に野菜農家が多いのは、もともと山 林地帯で田んぼが少ないということと、山 から染み出る水は冷たく、米作りに向いて ないということもありました。まして、米 は小田中に稲毛米というブランド米があり、 久末では生産量も少なく収入に結びつきま せんでした。山や畑の土地が8割を占め、 山水野菜作りの方がはるかに効率が良かっ たのです。清水が豊富だから、昔は蛍もた くさんいたのです。夜に箒を振り回すと5、 60匹捕まえることができました。

野菜の品評会は今年で100年になります。この野菜の品評会は大正5年から続いてますが、察するにこの野菜作りには歴史的にペリー来航が関係してるようです。外国船が野菜を求めたので、野菜がお金に変わり、よい野菜は高く売れることから、よい野菜作りから発祥したものと思われています。

◆今年は金婚式ですね

妻とは社内結婚ですよ。私が24歳、妻が20歳のときから付き合い始めました。 荏原製作所は男社会ですから女性職員は少なく事務員のみでした。付き合ってから、 社内ですぐバレてしまい、羨ましがられましたね。でも、私は長男だし、当時、まだ姉や妹や弟の小姑が3人もいて、すぐには結婚できませんでした。それに母の苦労を知ってるから、絶対母とは一緒に住んでほしかったのです。結局、結婚に至るまで3年かかりました。今でも、妻の兄貴たちは、私のことを「可愛い妹を取っていきやがって」と恨んでいるかなと思ったりもしますよ。

母も妻を大事にして何でも教え、聞いて いました。50年間、妻が大家族を支えて くれました。本当に感謝の一言です。今から金婚式をどうしようかと考えていますよ。 子どもは一男一女です。2人とも妻が良く育ててくれたと思っています。長男は転 勤族で今、鹿児島。長女は母に似たのか、 アメリカ留学をきっかけに起業して、アメ リカと日本を飛び回ってます。

正月は家族皆が我が家に集まります。私 らおじいちゃんとおばあちゃんが孫にお年 玉をあげて、息子が私らにお年玉をくれる のです。

父のいなかった私の小さな頃の正月とは 全く違いますね。

(平成28年9月15日取材)